



日本学校カウンセリング学会

Japanese School Counseling Association

学会・研修会（第29回大会）プログラム（共催 財団法人 生徒指導士認定協会）

学校現場で具体的に確実に使えるカウンセリング、生徒指導を提案している学会です。
児童生徒を効果的に指導したい、さらに高度の指導力を身につけたい、具体的な指導が知りたい、また自信のある指導をしたいとお考えの方に最適です。

期 日 平成 26年1月11日（土）・12日（日）

場 所 ウィルあいち
〒461-0016 愛知県名古屋市東区上笠杉町1番地

参加対象 幼・小・中・高・大の教員、教委・研究所・センターの先生、
学校心理士・生徒指導士・臨床心理士・スクールカウンセラー、その他

参加費 会員 5,000 円・学生院生 4,000 円（非会員 8,000 円・学生 7,000 円）

※「会員」とは、日本学校カウンセリング学会・生徒指導士資格取得者（受講中を含む）に所属の方です。

2日目のワークショップのみの参加は4000円です。

生徒指導士及び学会認定ポイントは1pとなります。

内容

1月11日（土）

口頭発表と教育セミナー

受付 9:15～ 9:30

午前 口頭発表 9:30～ 12:00

昼食

午後 口頭発表 13:00～ 13:30

午後 教育セミナー 13:45～ 16:30

- ① 中学校における生徒指導その実態 13:45～14:45
- ② アメリカにおけるいじめ対策 14:55～15:55
- ③ 学校でのいじめ対策についての最近の情報 16:05～16:30

1月12日（日）

ワークショップ

受付 9:30～ 9:45

午前 9:45～12:00 ワークショップ

昼食

午後 13:00～16:30 ワークショップ

「ポジティブ心理学」に基礎づけられた
学校教育現場の「強み」の発見

1月11日（土） **口頭発表**

1 「学校におけるいじめ調査報告-場所・時間・教師対応への認知」

武井倫子（一宮中央看護専門学校）、水野康樹（名古屋市有松中学校）、
市川哲（特別支援教育サポートセンター） 9:30-9:45

2 「スクールカウンセラーに関する研究の現状分析」

水野康樹（名古屋市有松中学校）

9:45-10:00

3 「いじめと回復行動について」

市川哲（特別支援教育サポートセンター）

10:00-10:15

4 「米国の個別の指導計画（IEP目標の進め方）

～問題提起されたIEPに対する検討の視点～

石川真史（三重県立特別支援学校西日野にじ学園）

10:15-10:30

5 「体罰がもたらす影響について -近年における実証的研究の考察-」

宇田光（南山大学教職センター）

10:30-10:45

休憩

6 「ピア・リンク・ミディエーションと教師が行う調停の特徴」

有門秀記（皇學館大学）

11:00-11:15

7 「発達障がい学生への就労支援について」

仲律子（鈴鹿国際大学）

11:15-11:30

8 「教師との関係が仮想的有能感の変化に及ぼす影響」

松本麻友子（名古屋大学）

11:30-11:45

9 「生徒から見た特別支援教育の実態」

西本紫乃・有門秀記（皇學館大学）

11:45-12:00

昼食

10 「日本とアメリカのいじめ対策の相違」

福井龍太（茨城県立医療大学）

13:00-13:15

11 「中学校における社会的スキル教育の実践」

渡邊健二（鈴鹿医療科学大学）

13:15-13:30

1月11日(土) 13:45~16:30

教育セミナー

- ① **中学校における生徒指導その実態**
講師 服部行雄先生(清須市立西枇杷島中学校)
- ② **アメリカにおけるいじめ対策**
講師 福井龍太先生(茨城県立医療大学)
- ③ **学校でのいじめ対策についての最近の情報**
~いじめの定義と対応をめぐって~
講師 市川千秋先生(認定専門生徒指導士)

1月12日(日) 9:45~16:30

ワークショップ

アメリカで注目されている

「**ポジティブ心理学**」に基礎づけられたワークショップです

学校教育現場の「強み」の発見

独特な質問(AI)を用いたワークの実践

講師 川島一晃先生
三重大学共通教育センター

この9月には、メリーランド大学、ジョンホプキンス大学でのリーダーシッププログラムを視察されました。「ポジティブ心理学」のリーダーシップの養成を目指しておられます。

ワークショップの紹介

国連をはじめ、近年世界各国の教育・行政・産業界で用いられているAIという組織マネジメント技法を参考に教育現場に存在する「強み」を発見します。問題解決的アプローチとの違いを知り、集団における「今、ここ」にすでに存在する「強み(strength)」を拡充することで、課題を抱えながらも構成員がのびのびと、また、生き活きと活躍できる将来像を描くことを目指すワークショップです。様々な問題は、何か別のものへ変化したいとする集団ニーズです

できていないことではなく、今あるすばらしい皆さんの強みの発見の機会になれば幸いです。

JSCA 第 29 回大会 (2015 年1月、ウイル愛知) 参加申込書

ふりがな		
氏名		
自宅住所		
電話番号		
FAX		
E-mail		
会員種別	JSCA会員・生徒指導士(受講中含む) ・ 非会員	
会員種別	(あてはまる方に○)	
所属・勤務先		
職種		
住所		
電話番号		
郵送・連絡先	(自宅 ・ 所属勤務先) (希望する郵送先を○)	
11日参加希望	参加	不参加
12日参加希望	参加	不参加

申し込み書は、FAX 番号 0 5 9 - 3 7 3 - 1 6 0 1 にお送りください。
 ※大会または発表に関するお問い合わせは、日本学校カウンセリング学会事務局のメールにてお願いいたします (office.jsca@gmail.com [西口利文])。



- 地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約 10 分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約 8 分
- 基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約 10 分
- 市バス幹名駅 1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約 5 分